

製品名: Cpn10 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01848**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 11 kDa; Observed MW: 11 kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPE1
別名	HSPE1; 10 kDa heat shock protein; mitochondrial; Hsp10; 10 kDa chaperonin; Chaperonin 10; CPN10; Early-pregnancy factor; EPF
遺伝子 ID	3336
SwissProt ID	P61604
免疫原	ヒト Cpn10 の合成ペプチド

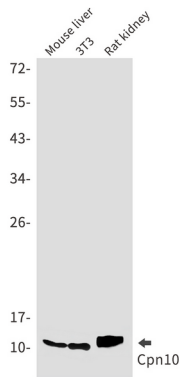
背景

真核生物のCPN10 ホモログであり、CPN60 と共にミトコンドリアタンパク質の生合成に必須である。Mg-ATP 存在下で CPN60 に結合し、CPN60 の ATPase 活性を抑制する。

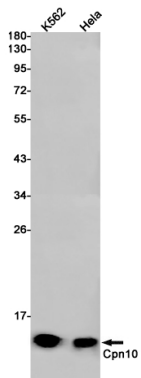
研究分野

シグナル伝達

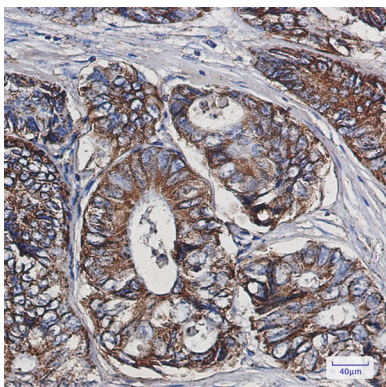
画像データ



Cpn10 抗体を使用したマウス肝臓、3T3、ラット腎臓溶解物中の Cpn10 のウエスタンブロット分析。



Cpn10 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の Cpn10 のウエスタンブロット分析。



Cpn10 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。